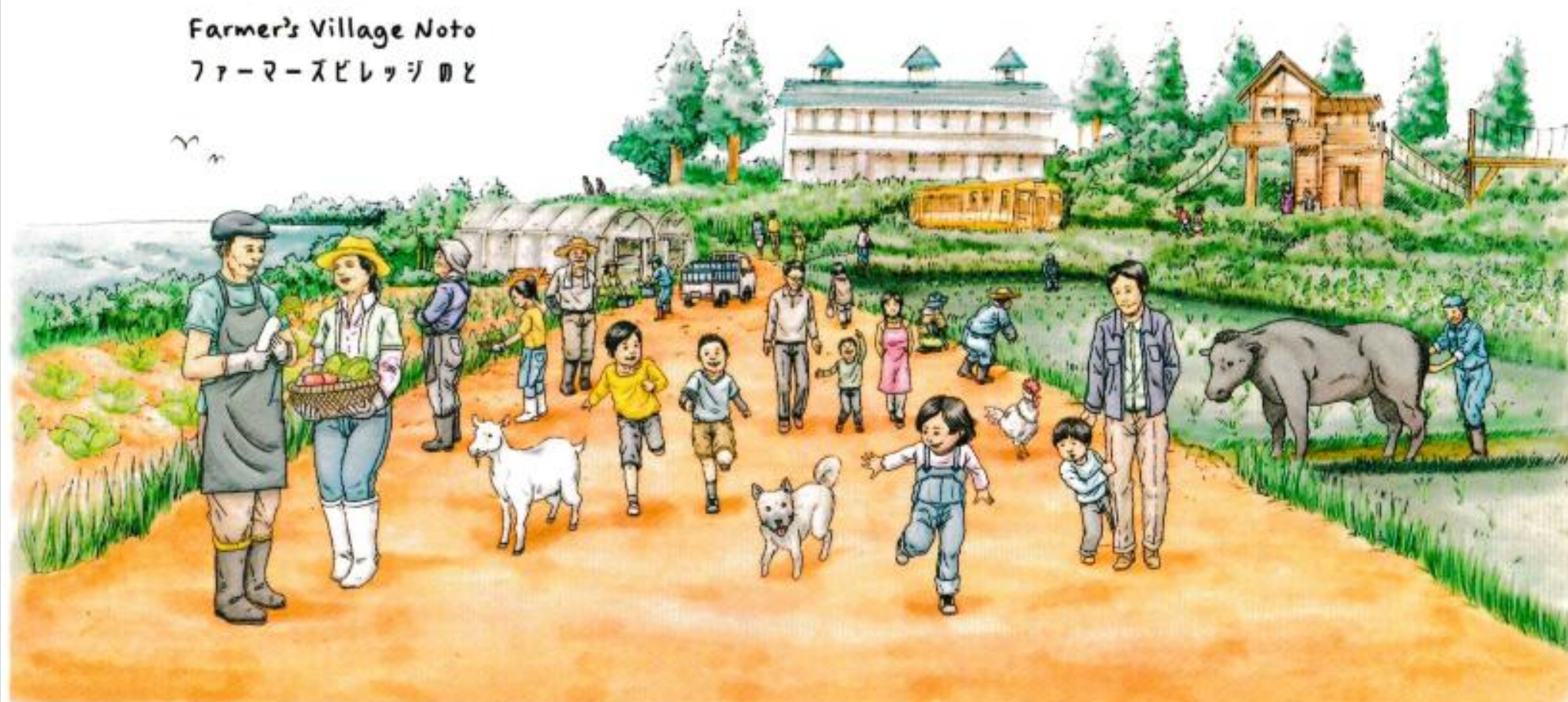




Farmer's Village Noto
ファーマーズビレッジ 能登

能登半島に地球が喜ぶ農業の
一大生産拠点を。
農業と子供の未来をつくる。



プロフィール

昭和34(1959)年3月7日生まれ 現在66歳

津幡中学卒

星稜高校卒

京都外国語大学卒

金沢国際ホテル入社～ホテル日航金沢
数社を経て

能登島にて活動が開始(平成22年夏～)

能登半島に地球が喜ぶ農業の一大生産拠点を作る。

2030年までに200ha規模で、野菜20品目、果樹、穀類など
石川県の食料自給率向上を目指します。



生産した野菜は、学校給食への供給。

新しいカタチの農業を実践します。

プロの農家と消費者がともに野菜を作る畑。



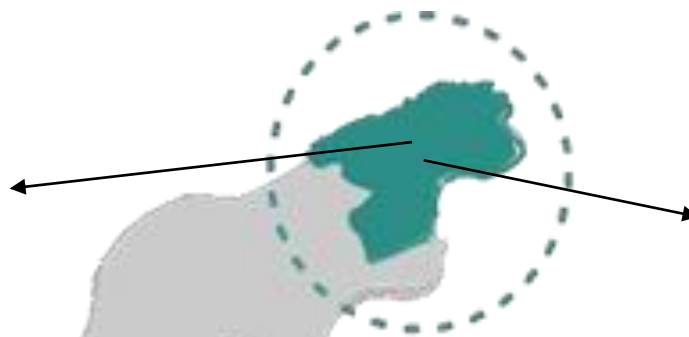
そのためにクラウドファンディングで
全国より「村民」を募集しました。



三崎町
50a

Farmer's Village NOTOは
珠洲市からスタート。
2023年10月21日開村

石川県



正院町
80a





プロジェクトの原点は、
野々市市中林の小さな八百屋「香土カグツチ」



【香土カグツチ】とは…

「おいしい野菜と暮らす」というコンセプトのもと、

石川県産の旬な野菜だけを販売するお店です。

単に野菜を販売するだけでなく、

農家さんのこと、食のことを知ることができる場です。

スタートアップ
元祖!村民
500名
大募集!!

石川県の小さな八百屋の挑戦!
能登半島に地球が喜ぶ農業の一大生産拠点を作ります。

Farmer's Village NOTO

能登Farmer's Village

都市と農村をつなぐ生産拠点の運営



構想原案
2022.05.15
NPO法人アグリファイブ

石川県が食料自給率全国一位を目指すための序章



はじめに…

石川県は食が豊かな県であると内外からの評価が高い。稲作が盛んで、コシヒカリや近年ブランド化されたひゃくまん穀などおいしいお米が生産されている。また、金沢には全国の食通を満足させる飲食店が多いことでも知られている。世界農業遺産にいち早く認定された能登地区を背景に観光資源にも恵まれ、金沢市のブランド力は日本有数である。しかしながら、食料自給率はカロリーベースで全国21位49.0%。第1位の北海道194.2%には遠く及ばない。農業就業人口35位17,508人。第1位の岩手県は70,357人である。

この事実を踏まえ、世界を取り巻く情勢の中、一度戦争が起こると穀類を始めとする農産物などの輸入が低下し、国民の生活を脅かすこととなる。

根幹である第一次産業の農業において、食糧安全保障の観点からも、まずは自県にて農産物が生産豊富で農家が元気になり、消費者が安心して食卓が囲める仕組みを作る時が来たと我々は考えています。

どんなアクションを起こせばよいか？

まずは、農家が安心して農産物を作る環境の整備をすること。

そして、県内にてその農産物が日々消費される仕組みを作ること。

生産される農産物が安心安全で、子育て世代のママさんたちに容易に受け入れられる機会を創出すること。

食に対する消費者の考え方が生産者となつながることでより密接になること。

食料自給率をあげるための取組み

- 農林水産省の指針より抜粋 -

- 1、今が旬の食べ物を選びましょう
- 2、地元でとれる食材を日々の食事にいかしましょう
- 3、ごはんを中心に、野菜をたっぷり使ったバランスのよい食事を心がけ、しっかり朝ごはんを食べましょう
- 4、食べ残しを減らしましょう
- 5、自給率向上を図るさまざまな取り組みを知り、試し、応援しましょう

- 2030年までに国内の自給率45%を目標としています。

我々のプランとは…

1. 県内の耕作放棄地の有効利用
2. 農家志望の移住促進
3. 学校給食への地元野菜等の積極導入
4. 銀座にあるアンテナショップでの野菜などの販売強化
5. 有名人への野菜大使の委嘱と活動



この5つを実践する入口として能登地区に生産拠点を作ります。

では、我々NPO法人アグリファィブとは…

2016年4月、農家である洲崎邦郎を代表として10名の発起人にて「生産者と消費者をつなぐ活動」を行うためのNPO法人を設立。同年9月登記。

以来、石川県内の農家をネットワークし、食談会、料理教室、勉強会、マルシェ、農家探訪など多岐にわたる活動を展開し、2017年5月より、金沢市安江町にある金澤表参道(横安江町商店街)にて毎週水曜ファーマーズマーケットを主催(現在も開催中)。2018年8月、その商店街の一角に石川県内の農家さんの野菜だけを販売する八百屋「香土カグツチ」をオープン。2021年7月末、同店を野々市市中林に移転させ、子育て世代のママさんたちのおうちごはんを応援する店として、農や食のことを知るイベントなども実施する。

能登地区での生産拠点づくりとは…


世界農業遺産認定の能登地区に農産物生産の広大な圃場を確保し、オーガニックな農法オンリーで若手農家の移住を図り、県内随一の生産拠点を作ります。日々生産される農産物はトラックにて金沢などに輸送し、学校給食などの食材として一括購入し、農家の所得安定を図る。そして、それ以外の農産物は個々の農家の力量で一般消費者へ直販する。入植する農家は個々に多品目な農産物を生産し、個々の想いを生かしためずらしい農産物の生産なども手掛け、差別化も図ることとします。

生産に必要な機械の貸出や集出荷場などをシェアし、日々の生産・調製・出荷を行い、週末には農家揃ってその場でマルシェなどを実施し、消費者との交流も行う。

また、農作業を手伝う人を随時募り、気軽に農業体験ができ、観光もできる商品を造成し、関係人口づくりも同時に行う。

本拠点は、野菜・穀類・果樹・畜産などを生産し、循環型農業を行う。





土の香りのするもの
自然由来のもの
ココロが豊かになるもの

私たちが目指すのは、マルシェを通じた
豊かな暮らしのあり方

bon marchē





農photo HYAKUSHOのカタチ

写真展

2021.5/21-30



2024年1月1日16:10頃
能登半島地震発生



私たちは、拠点を失いました。









スズズカ SUZUZUKA

珠洲市立飯塚保育所



1/10より珠洲市正院町飯塚の避難所への炊出しが始める。

シェフのチームを編成し、当番制で。
ボランティアスタッフを募集。



能登半島はオリーブが守る。



オリーブ応援団2000名大募集!!

3/29より
MAKUAKE
クラファンにて
オリーブ応援団
大募集!!

私たちは、今回の震災からいち早く立ち上がるために、平和の象徴であり、人々に希望を与えるオリーブを基軸に復興に向けて、進みます。

まず、3年間で1,000本のオリーブの苗木を能登半島に植えます。珠洲市、能登町、輪島市、穴水町、志賀町など被災した地区の農地を借り受けて、定植します。そして、各地の仮設住宅の玄関先にも。

オリーブは苗木を定植してから3年栽培すると実をつけ、収穫できるようになります。
この先、能登半島の復興に寄り添い、伴走するが如くに育つオリーブと能登半島の復興。
皆さまには、オリーブの成長と復興を同時に応援していただきたいです。

今回のクラウドファンディングにおいて、私たちは、オリーブ事業に関わり、共に成長する姿を応援するオーナーを2,000人募集します!!

2024年、私たちは東京のチームとともに
リスタートの準備を行い、暮れの「村民会
議」を経て、2025年、更なる活動を再開
します。



•私たちFarmers Village NOTOの目標は、2030年末までに、能登半島に200ha規模の農薬や化学肥料を使わない野菜、穀類、果樹などと畜産の一大生産拠点を作ることです。生産した野菜などは、子どもたちに食べてもらうために学校給食への供給を行います。

•能登半島に農産物生産の広大な圃場を確保し、農薬に頼らない農法で若手農家の移住を図り、県内随一の生産拠点を作ります。日々生産される農産物はトラックにて金沢などに輸送し、学校給食などの食材として一括供給し、農家の所得安定を図ります。そして、それ以外の農産物は個々の農家の力量で生活者へ直販します。

•生産に必要な機械の貸出や集出荷場などをシェアし、日々の生産・調製・出荷を行い、週末には農家揃ってその場でマルシェなどを実施し、生活者との交流も行います。

•また、この構想を実現するためには、食をつくりだす“地域”と食の一大消費地である“大都市圏”を結び、ひととひと、情報と情報が結びつく機会を創出していくことが重要です。私たちは石川と東京がつながる仕組みをつくり、多様な関わり方が選択できる場を用意します。

•そして今、私たちはFarmers Village NOTOを立ち上げるためのコミュニティとして、“Team Farmers Village NOTO”を新たに立ち上げ、共に構想を実現する仲間“Villager（ヴィレジャー）”を募集します。





•わたしたち“Team Farmer's Village NOTO”は、農、食、能登・石川、子どもたちの「未来をつくる」観点から、農家と生活者の活動を繋ぐ、支える、生み出す、みんなで作るための様々なプログラムを立ち上げます。
“Team Farmer's Village NOTO”は共創するコミュニティとして、Villagerのみなさんと共にプログラムを考え、共に実行します。

1

繋ぐ

•あたらしい場所・あたらしいつながり・新しい流通・農地とひと・農家とひとなど

2

支える

•農業のしかた・情報発信のしかた・お金の稼ぎ方・農業機械のシェアなど

3

生み出す

•自然のある体験・野菜・人生の楽しみ方など

4

みんなで作る

•参加者みんなが主役・自発的にアクションする仕組みなど



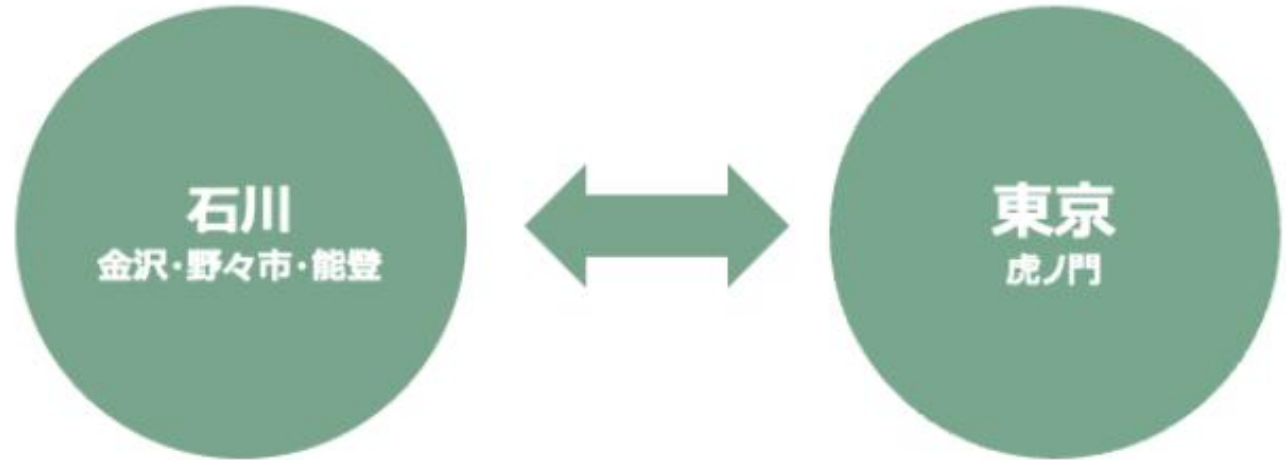
具体的なプログラム 石川チーム発

1. Faemer's Village NOTO + 香土@石川

- ①どうするVillage ...
 - ・ 珠洲市などの農地の活用を検討する
 - ・ 運営全般を共に考える※特に東京と連携
- ②Villageで農作業 ...
 - ・ 野々市ほ場にて日々の農作業に加わる
(好きなタイミングで好きな時間に)
- ③Villageを食す ...
 - ・ 野菜定期便に登録し、毎月野菜を食す
 - ・ 食の処方箋プログラムに参加する
(オンライン、リアルが選べる)



「みんなの八百屋”香土 カグツチ”」をバーチャルに開店し、
石川と東京を結ぶプログラムを実施します



「みんなの八百屋”香土 カグツチ”」をバーチャルに開店し、石川と東京を結ぶプログラムを実施します



•私たちは、八百屋を「サステナブルな食のすばらしさを再編集し、クリエイティブに伝え、地域を活性化するための拠点」として再定義します。

•ニッポン全体の活性化を加速化するためには、食をつくりだす”地方”と食の一大消費地である”大都市圏”と結び、ひととひと、情報と情報とが結びつく機会を創出していくことが重要です。

•自然や大地とのつながりを感じることは、「環境」に対する感受性を育み、共生型の未来をつくる起点ともなります。一方、東京の都心部では、こうした機会を得ることは容易ではありません。

•私たちは、金沢・野々市、能登とを結びながら、野菜を売ることを目的としない八百屋”香土 カグツチ”を東京の虎ノ門でバーチャルに開店し、「サステナブルな食の未来」と「ウェルビーイングな毎日の暮らし」、「能登の復興・地方創生」につながる活動を行います。

これからVillagerの皆さんと一緒に、東京発のプログラムを考え、実行していきます

プログラム①食のすばらしさの再編集+Organicの視点を持ちながら、私たちの普段の暮らしをもっと心地よく楽しくする食の魅力を生みだします

- ソーシャルガストロノミー®のコンセプト開発
- 食の魅力と新たな創造についてのレクチャー
- 「オーガニック×伝統野菜」など、独自食材の企画、生産、加工、商品開発
- オーガニック野菜のオーダーメイド

プログラム②クリエイティブなコミュニケーション
おどろきや感動を各種メディアを通じて伝えます

- CN各種メディアに対するコンテンツ提供
- 旬刊ZINE「Kagutsuchi@虎ノ門」
- オーガニックマルシェへの参加、シネマなど

プログラム③地域の活性化

東京の私たちも、能登・石川ももっと楽しく豊かになる、復興する

- Company supported Farmによるオーガニック農業生産の拡大
- 能登・石川オーガニックツーリズム
- 企業版ふるさと納税など



まずは、能登・石川でいち早く安心して農業ができるように、企業やグループを対象とした支援プログラム作りに取り組みます



農地の借り上げ、事前予約購買、契約栽培等のメニュー作り

ふるさと納税・企業版ふるさと納税を活用した仕組みづくり

能登・石川の豊かな食や農を体験できるオーガニックツアーの企画

Farmer's Village NOTO

村民の定義

- ・ 村づくりをする人
- ・ 野菜づくりを手伝う人
- ・ 野菜を買って応援する人
- ・ 移住して本格的に農業をする人
- ・ 半農半Xな人
- ・ とくかく応援したい人

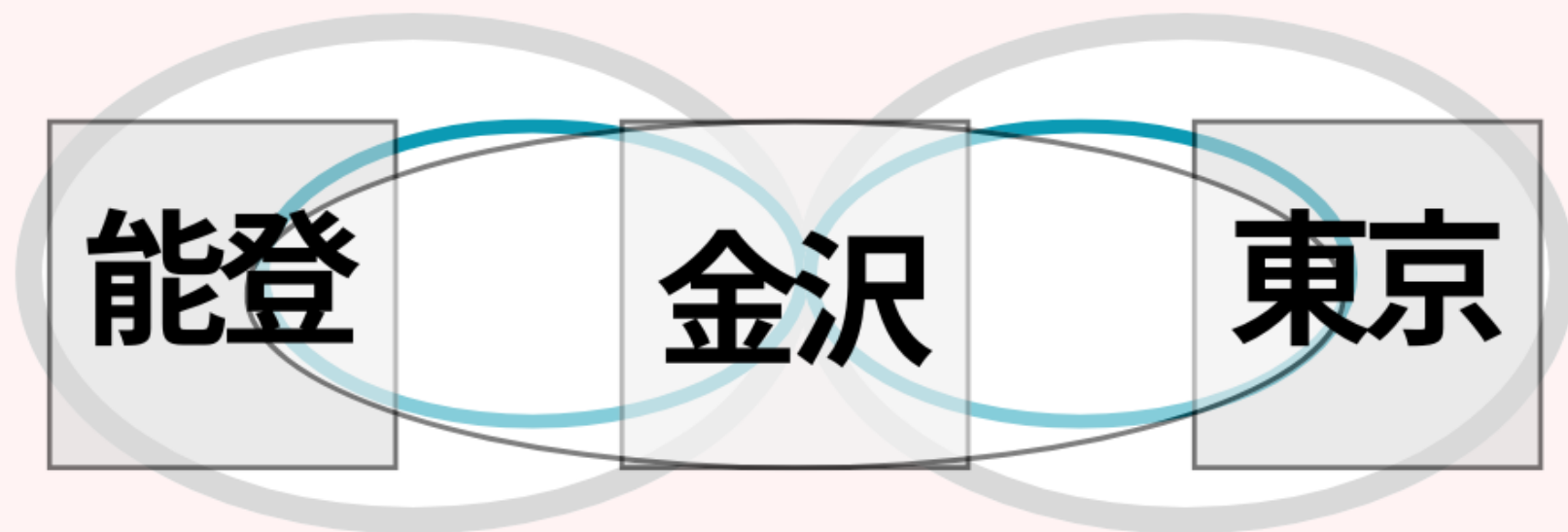


Farmer's Village Noto
ファーマーズビレッジ 能登

村民を大募集! 365名集めます。



石川と東京で好循環を作る



石川チーム

東京チーム

新しい農家

新しいJA

新しい八百屋

新しい消費者

人的交流
買支え
農的支援





Farmer's Village Noto
ファーマーズビレッジ のと